

「ガラスの茶室」見学記

櫻井由美

昨年1月、久しぶりに佐賀県立美術館を訪れ、吉岡徳仁氏の「ガラスの茶室—光庵」を拝見しました。



吉岡氏は、TOKYO2020オリンピックの聖火トーチのデザインをしたことでも有名な佐賀県出身のデザイナー、アーティストです。

展示室に入るといきなりガラスのテーブル「waterfall」が現れ、存在感を放っていました。

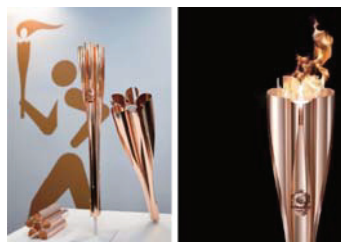


大きさも勿論ですが、4.5メートルの断面から向こうにいる人の顔がハッキリ見える透明度は、光学ガラスならではの、その美しさに感動しました。

ガラスという素材で造られた茶室には床の間がなく、掛け軸や茶花は見当たりません。

プリズムガラスを自然光が透過し、映し出された光が花となるのです。

作品を透明のガラスだけで表現するには光をどう取り入れるかが重要なのだと改めて感じながら会場を後にしました。



吉岡氏デザインの聖火トーチ



只今特別公開中！！

「吉岡徳仁 ガラスの茶室—光庵」

【日程】2019年4月17日(水)～2021年5月10日(月)
【会場】国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)
【観覧料】無料

● 活動報告 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

2019. 9. 2 第一回実行委員会
2019. 12. 16 第二回実行委員会
2020. 3. 9 第三回実行委員会

● 活動予定 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

2020. 4. 20 通常総会

第8回日本ステンドグラス作家協会展中止のお知らせ

5月開催予定の『2020東京“EMOTION Ⅷ 感動”』は、新型コロナウイルス感染拡大・防止等々の状況を鑑み中止と致し、来年2021年“第9回展”を開催いたします。
＊詳細は、夏以降にお知らせいたします。



第9回 JSGaA 日本ステンドグラス作家協会展

2021東京“EMOTION IX 感動”

【会期】2021年5月11日(火)～18日(火)

【会場】東京都美術館ギャラリーA

一般公募のお知らせ

◇次回(2021年5月)開催予定の第9回日本ステンドグラス作家協会展の一般公募作品を募集しています。

＊詳細は、HP・QRコードでアクセス
または、事務局までお問合せください。



ホームページ

<http://jsgaa.org/>

発行者 日本ステンドグラス作家協会(JSGaA)
発行日 2020年4月15日
事務局 〒108-0074
東京都港区高輪 4-2-7-201
林 晶子(A工房) info@jsgaa.org
編集者 〒737-0124
広島県呉市広中新開 2-14-19
花田良子(アトリエ レガーレ)
TEL 0823-65-2528
後藤 栄(Stained Party)
TEL 0586-85-8268

＊本協会への入会希望・お問い合わせは、事務局及び各会員までお願いします。



日本ステンドグラス作家協会

JSGaA

会報誌vol.23

日本初のアンティークステンドグラス美術館 由布院ステンドグラス美術館

花田良子

大分県由布市湯布院川上 2461-3
Tel: 0977-84-5575
<http://www.yufuin-sg-museum.jp>



1996年(平成8年)10月1日、かつてキリシタンの桃源郷と言われた湯布院の地に、日本で初めてのステンドグラス美術館が誕生しました。

建物は、ヨーロッパの19世紀から20世紀のステンドグラスが展示されている【ニールズハウス】、外観の建材や家具に至るまで厳選された英国直輸入のアンティークで装飾されている【聖ロバート教会】からなります。

ニールズハウス NEIL'S House



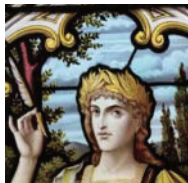
◇ アールヌーボーの最高傑作と呼ばれるエミール・ガレのランプ・壺をはじめ、数多くの名品・美術品が展示されており、それぞれの空間にさりげなく置かれた英国家具とマッチし心豊かな時間をもたしてくれます。

そうした空間に幻想的な光と色を魅せてくれるステンドグラスが展示され、19世紀から20世紀初頭にかけてのヨーロッパ各地のステンドグラスの歴史的な変遷・特徴を展示室ごとにつぶさに見、視覚的にとらえることができるような展示構成になっています。

特にアイルランドが生んだ稀代の挿絵画家・ステンドグラス作家ハリー・クラークのステンドグラス「洗礼者ヨハネ」は、彼独特の色使いと緻密な筆致で、挿絵画家としてのハリー・クラークを彷彿とさせ、ステンドグラス作品としても、彼独自の抒情的な世界を構築しています。(現在、彼の作品はアイルランド国外持ち出し禁止)

◇ 19世紀のステンドグラスは、所謂「絵画のステンドグラス」と呼ばれジャポニズムも盛んに取り入れられ、写実的・緻密な絵付けで、テクニク的には難しいレベルといわれています。

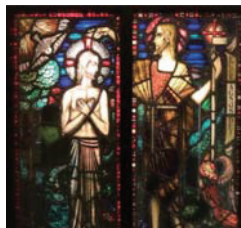
「詩を読む女性」は、その緻密な写実性からもまさに19世紀の特徴がしっかり表出された作品ともいえるものです。



【～詩を読む女性～】



【洗礼者ヨハネ】

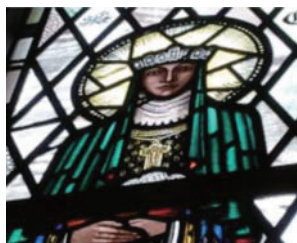


光の宝石・光の芸術・・・敬虔なチャペル

聖ロバート教会 ST. ROBERT CHURCH

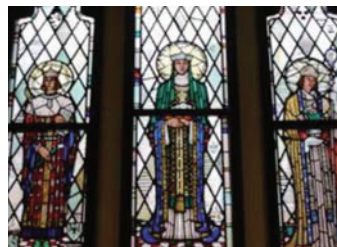


◇ ニールズハウス同様、屋根瓦(スレート)やレンガ等外装用の建材には、150年以上の歴史を持つ英国製の味わい深いアンティークのものを、骨組みは大分産の日田杉で完全木造建築で随所にこだわりがみられ、美しさを際立たせています。

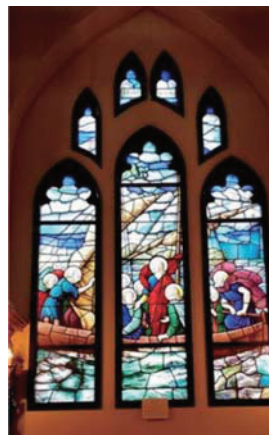
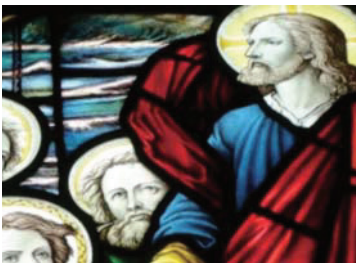


三人の聖者

英国デザイン ドイツ製作
◇背景に様々な白いガラスを用いることで、聖者の存在感をより際立たせている。聖者のガウンの大部分は、慎重にエッチングされた被せガラス、エッチング後にシルバーステインが施され、手の込んだフロケードの質感を表現する等、技術的にも圧巻の作品となっています。



静かに、静まれ (Peace, Be Still)
20世紀初頭 イギリス
当時の作品の典型的なものであり、それぞれの顔の表情、穏やかな海、嵐との奇妙な取り合わせがうまく表現された作品です。



◇ 正面にメインステンドグラス「聖母と天使たち」(作者不明)。教会内には、ウエストミンスター新宮殿やイギリス国会議事堂の建設に従事した建築家ビュージン等の高名な作家の手による芸術品が展示され、厳粛さと気品を醸し出しています。

*取材にあたりまして、ご多忙中のところ美術館のスタッフの皆様には、懇切丁寧にご対応いただきましたこと、大変感謝しております。

ティファニーの作品 in New York

滋野晶江



メトロポリタン美術館でも、ティファニーランプやパネルが展示されていますが、ここでは観光客も少ない穴場スポット。

NY歴史協会 (Historical Society Museum)

を紹介します。

アメリカの歴史・文明の発達など学べる施設です。

アッパーウエストサイドに位置し、隣には映画「ナイトミュージアム」の舞台になった「アメリカ自然史博物館」があります。

訪れたのは随分前になりますが、数名の見学者と地元の小学生が社会見学に来ていました。

ティファニーのランプ132点がガラスケース入り窓パネルなどとともに展示されており、ゆっくり見学することができます。



撮影不可のところもありましたが、これだけの数のティファニー作品を見ることができる貴重な場所です。

周辺には地元で人気のスーパーや素敵なカフェ・レストランもあり、心もお腹もいっぱいになることでしょう。

